

3つの戦略的な施策

安定した雇用の創出

【戦略視点】

- ・圏央道や日野自動車古河工場の波及効果の活用
- ・地域資源の発掘と有効活用
- ・交流人口の増加

【取り組み】

- ・新たな企業誘致
- ・古河ブランドの発掘やプロモーションの強化
- ・体験・参加型の観光ツーリズム



若い世代の定住促進

【戦略視点】

- ・子育ての安心安全
- ・確かな学力と体験の中で豊かな感性を育む教育
- ・郷土愛の醸成

【取り組み】

- ・切れ目のない子育て支援
- ・小児科・産婦人科医療体制の充実
- ・子育て世帯への経済的支援
- ・特色ある学校教育
- ・「古河っ子」の育成



まちの安心安全

【戦略視点】

- ・水害への備えの強化
- ・地域防災力の向上、地域コミュニティの機能維持
- ・消防力の強化

【取り組み】

- ・防災啓発や避難行動の周知、水防計画による活動
- ・密集市街地への消防施設の設置
- ・消防活動を助ける生活道路の整備



今年は

「未来に向かい着実に前進する年」

と捉え、市民が確かな前進を実感できる年にしていきます。



はじめに

昨年末、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）について、今後の整備財源として政府の財政投融资による資金の活用が決まり、2024年度までの完成を目指して、順次、暫定2車線区間の4車線化等が図られることとなりました。

本市では、こうした都市づくりへの追い風を生かすためにも、4車線化が図られた時にその効果を最大限享受できるよう、今後さまざまな施策を強化してまいります。特に、企業誘致を含めた産業の振興や、交流人口の増加に繋がる観光面の施策を拡充するとともに、圏央道境古河インターへのアクセス向上のため、中心市街地から同インターに直結する国道354号バイパスの整備促進についても鋭意取り組んでまいります。

市政運営の基本方針について

古河市の市政運営については、「新市建設計画」および「第2次古河市総合計画」を最上位の指針とし、また、「古河市人口ビジョン」に基づく「古河市まち・ひと・しごと創生総合戦略」による持続可能な施策を展開することで、本市の未来像「華のある都市古河」の実現を目指してまいります。

実現に至るアプローチとしては、今日の市町村を取り巻く社会状況を踏まえ、本市の現状と向き合う中で、有効な施策を選択しつつ、戦略的に進めてまいります。

市町村は今、少子高齢化とそれに伴う人口減少の中で、今後どのようなまちの活力を維持し、地域経済の活性化を図っていくのかが大きな課題となっております。

少子高齢化の最大の問題点は、労働力の中核をなす15歳から64歳までの生産年齢人口が減少することであり、日本全体の人口が減少する中ではありますが、まちづくりの観点からは、この年齢層の急激な減少に歯止めをかける必要があります。

そこで私は、その対応として、次の3つの施策を戦略的に進めてまいります。

① 安定した雇用の創出

元気を生み出す産業の振興を通じて、雇用の創出や拡大を目指します。そのため、圏央道や日野自動車古河工場の波及効果の活用、地域資源の発掘と有効活用、交流人口の増加を戦略視点として、新たな企業誘致、古河ブランドの発掘やプロモーションの強化、体験・参加型の観光ツーリズム等に取り組んでまいります。

② 若い世代の定住促進

若い世代は都市の活力そのものであり、市に呼び込み、繋ぎ止める必要があります。そのためには、子育ての安心安全、確かな学力と体験の中で豊かな感性を育む教育、郷土愛の醸成を戦略視点として、切れ目のない子育て支援、小児科・産婦人科医療体制の充実、子育て世帯への経済的支援、特色ある学校教育、「古河っ子」の育成等に取り組めます。

③ まちの安心安全

古河市が安全な所であれば、移住や定住も期待できません。特に水害への備えの強化、地域防災力の向上、地域コミュニティの機能維持、消防力の強化を戦略視点として、防災啓発や避難行動の周知、水防計画による活動、自主防災組織の育成、密集市街地への消防施設の設置、消防活動を助ける生活道路の整備等に取り組んでまいります。

以上、3つの戦略的施策を一体的に推進することにより、古河市が現在抱える課題の解決に前進できるものと確信しております。